

(株)飯田製作所

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間： 2022 年11月1日～ 2023 年10月31日)



作成日： 2023年12月1日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	8
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	9
これまでの環境活動の紹介	9



環境経営方針

<環境経営理念>

(株)飯田製作所は、油圧機器部品の加工を通じて環境に優しい製造業を目指し、自然との調和を配慮した企業活動を行い、地球環境の保全に貢献するよう努力します。

<環境保全への行動指針>

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2 . 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3 . 材料の有効利用と分別徹底により廃棄物の削減に努めます。
- 4 . 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5 . 切削油や洗浄油の適正管理につとめます。
- 6 . 原材料や事務用品のグリーン購入に努めます。
- 7 . 部品加工において省資源・省エネ提案をおこないます。
- 8 . 会社周辺の清掃活動を行います。



制定日：2017年8月1日

代表取締役社長 **飯田一哲**

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

(株)飯田製作所

代表取締役社長 飯田一哲

(2) 所在地

本 社 大阪府大阪市鶴見区放出東2-9-14

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 社長 飯田一哲

TEL：06-6968-9548

担当者 管理課 吉岡寛和

FAX：06-6969-3621

(4) 事業内容

金属加工業

(5) 事業の規模

売上高 3,800 万円

	本社
--	----

従業員	7 名
-----	-----

延べ床面積	500 m ²
-------	--------------------

(6) 事業年度 11月1日～10月31日

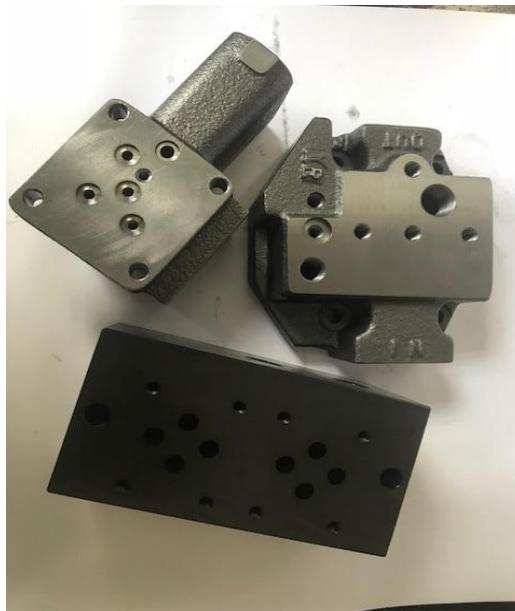
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： (株)飯田製作所

対象事業所： 本社

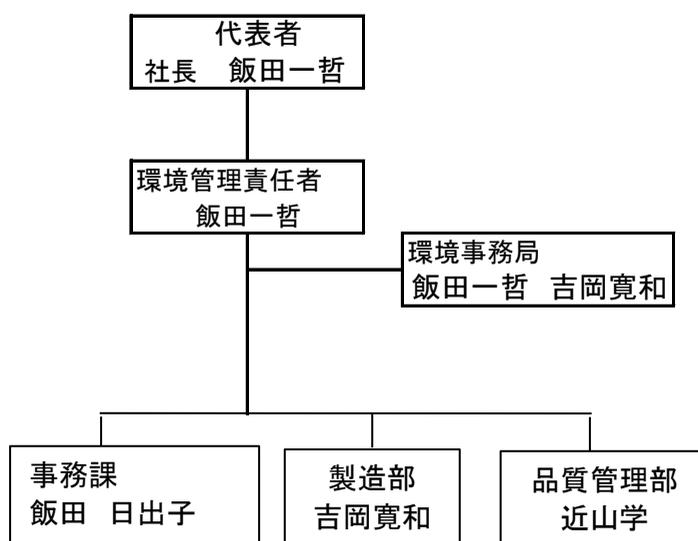
活動： 金属加工業

□事業や製品(商品)の紹介



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2021年8月1日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量 ※1	kg-CO ₂	43,806	41,521	37,899
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	405	665	670
産業廃棄物排出量 ※2	kg	6,680	8,080	7,850
水使用量	m ³	72	70	82

※1 二酸化炭素排出係数 0.478 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

※2 金属くず(有価物)

□環境経営目標及びその実績

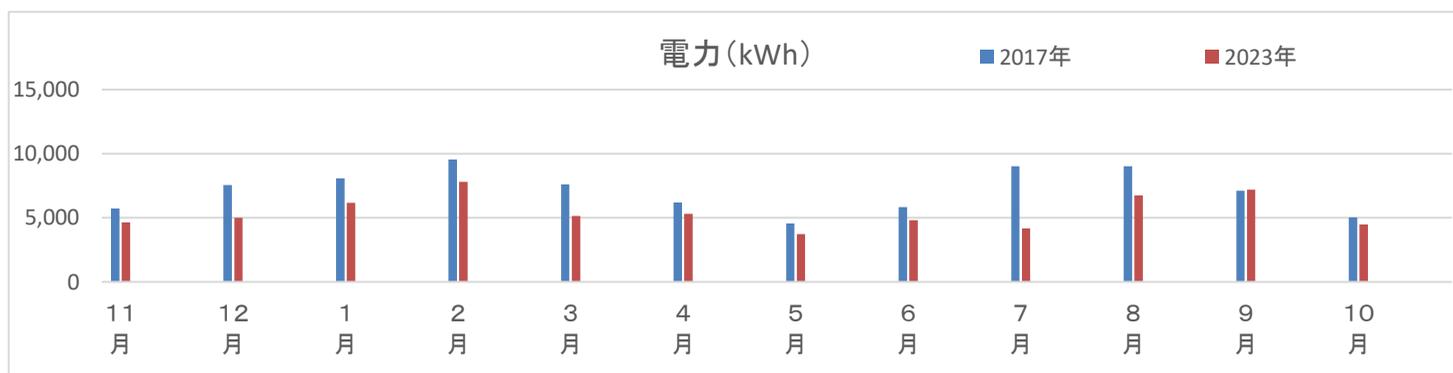
項目	年度	基準値 (基準年)	2023年		評価	2024年	2025年
			(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	40,812	39,995	31,164	○	39,995	39,587
	基準年度比	2017年	98%	76%		98%	97%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	2,179	2,092	2,138	×	2,092	2,070
	基準年度比	2017年	96%	98%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	5,419	5,310	4,597	○	5,310	5,256
	基準年度比	2017年	98%	85%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	48,410	47,398	37,899	○	47,398	46,914
一般廃棄物の削減	kg	670	643	670	×	643	637
	基準年度比	2017年	96%	100%		96%	95%
水道水の削減	m ³	92	90	82	○	90	89
	基準年度比	2017年	98%	89%		98%	97%
切削油の使用量の削減	kg	1,897	1,859	576	○	1,859	1,840
	基準年度比	2017年	98%	30%		98%	97%
グリーン購入の推進 (オフィス用品G購入率)	% (金額率)	—	1件	100%		4件	4件
環境に配慮した生産活動	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

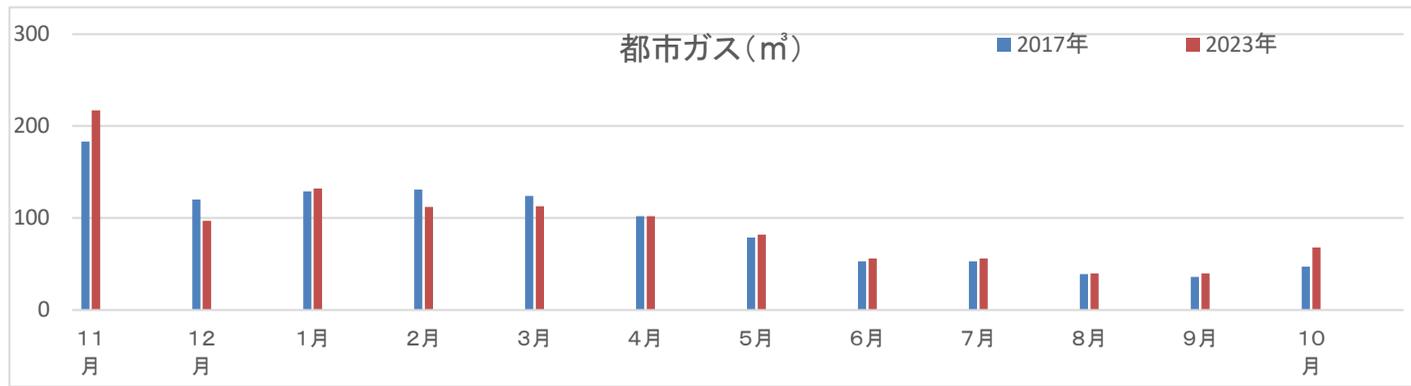
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	新規マシニング(ロボドリル)に加工を徐々に集約が出来、加工時間の短縮、夏期のエアコン(新規購入1台のみ使用)、売上高減少の影響による生産量の減少が要因。
・中間期はエアコン停止。外気を利用	○	
・不要照明の消灯	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	
・工作機械の不使用时の電源OFF	○	



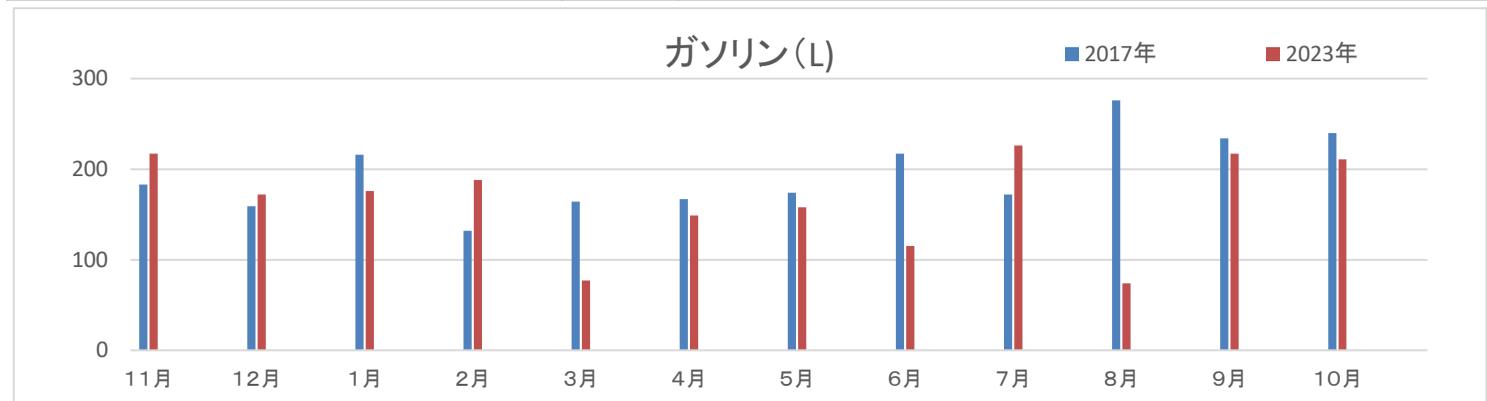
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2017年	5,720	7,544	8,081	9,541	7,597	6,198	4,565	5,846	9,009	9,009	7,102	5,044
2023年	4,635	4,997	6,162	7,812	5,142	5,307	3,723	4,809	4,169	6,758	7,193	4,490

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	例年のない猛暑月が続き、社員寮の浴室の利用が増えた為、目標が達成出来なかった。
・温水温度の適正化	○	



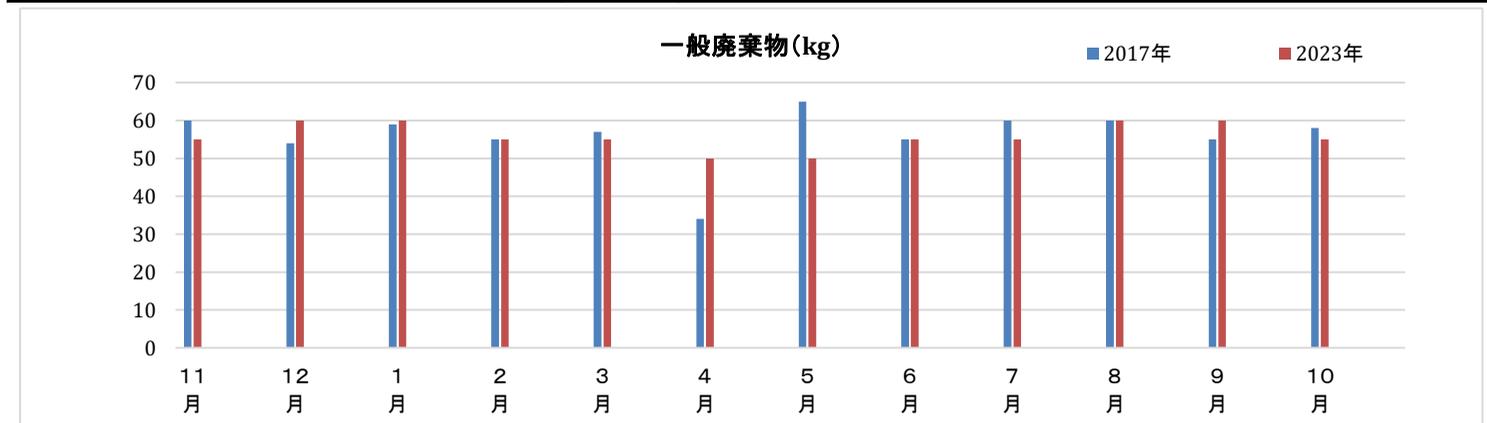
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2017年	183	120	129	131	124	102	79	53	53	39	36	47
2023年	217	97	132	112	113	102	82	56	56	40	40	68

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	注文数の減少により、納期遅れが少なくなり、自社便を出す機会が減少した。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	



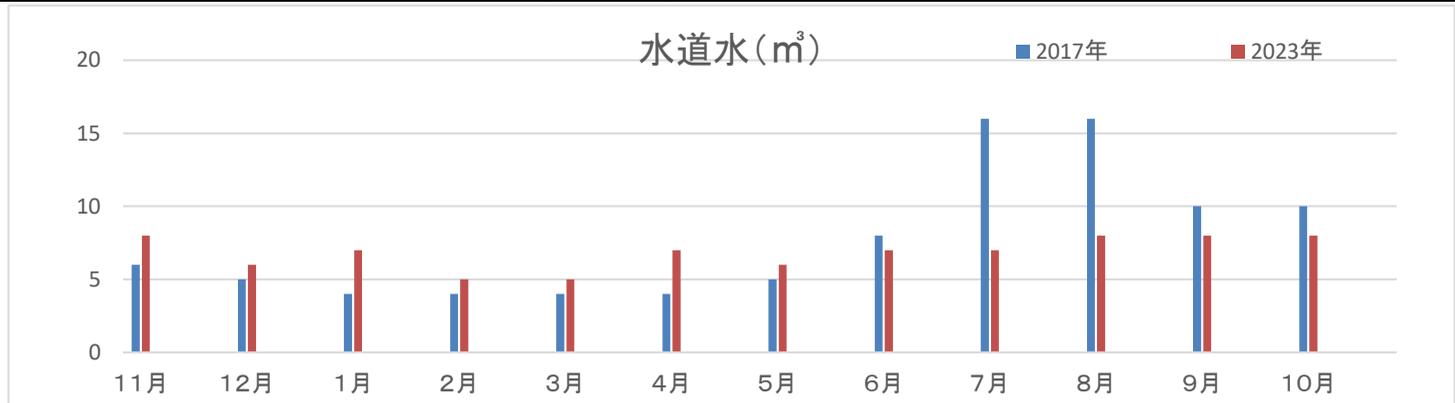
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2017年	183	159	216	132	164	167	174	217	172	276	234	240
2023年	217	172	176	188	77	149	158	115	226	74	217	211

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	年間を通して工場内の清掃を強化した結果一般廃棄物の増加につながった。
・分別の徹底	○	
・裏紙使用	○	
・ウエスの再利用	○	



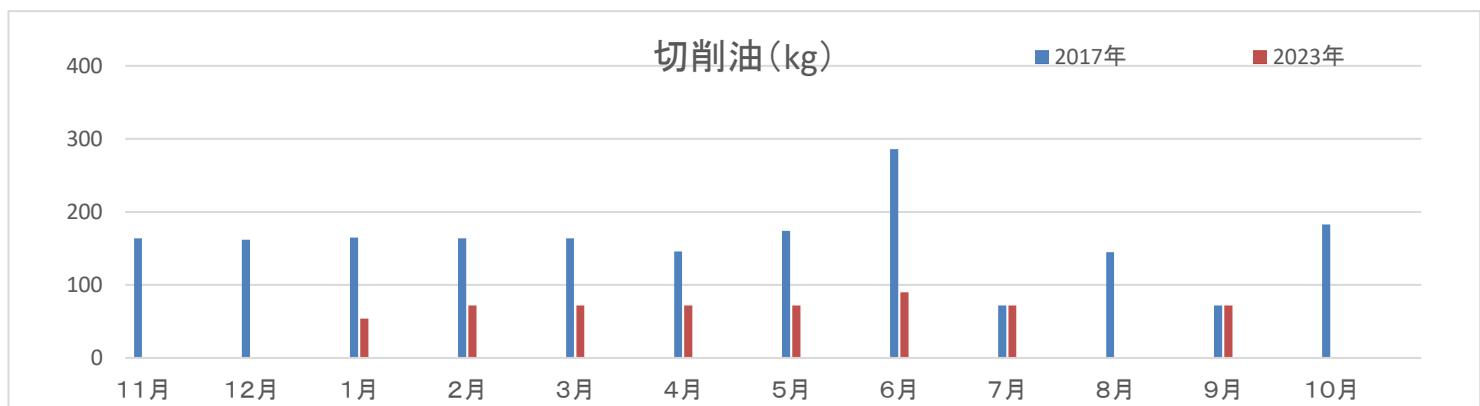
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2017年	60	54	59	55	57	34	65	55	60	60	55	58
2023年	55	60	60	55	55	50	50	55	55	60	60	55

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	基準年の後半が水道管の破損により使用量が増加しているため、目標を達成しているが、年間を通して、トイレ、緑化の水やり、湯沸かしや浴室の使用が増えた。来年から前年のデータを基準年に設定していくようにする。
・節水啓発（節水シールの貼り付けとポスター掲示）	○	



	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2017年	6	5	4	4	4	4	5	8	16	16	10	10
2023年	8	6	7	5	5	7	6	7	7	8	8	8

切削油の使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	新規マシニング機械に集約した為、該当する切削油の使用量が減少したのが要因である。
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	



	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2017年	164	162	165	164	164	146	174	286	72	145	72	183
2023年	0	0	54	72	72	72	72	90	72	0	72	0

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	グリーン購入品であり、かつ低コストの物を購入するように心がける。
・事務用品グリーン購入品目の件数	○	

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価
スクラップ及び切粉の削減	○	生産活動での不良額の算出をする事により、社員一人一人の不良を出さない意識が向上し、スクラップの削減につながった。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物
騒音規制法、大阪府条例	空気圧縮機
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機、エアドライヤー

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

2023年度は訓練の代わりに教養型動画視聴を実施。

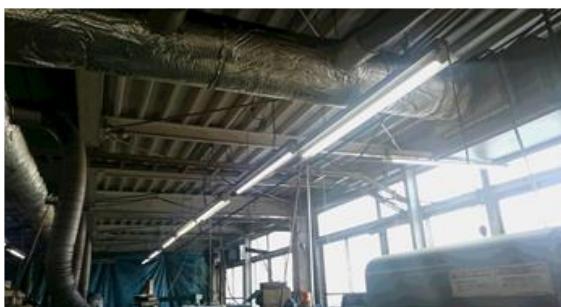
□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年11月30日

<情報>		<見直し・指示>
◇自社を取り巻く環境問題の変化 （社会的情勢、利害関係者の要求等） ダイキン工業の依頼であったエコアクション21を取得することで、化学物質などの管理が市場的には厳しいことがわかった。引き続き協力会での勉強会等を通じて情報収集する。		◇環境経営方針 変更なし
◇環境目標・活動計画の達成状況 一般廃棄物、都市ガスの項目以外は目標達成することが出来た。		◇環境経営目標・環境経営計画 ・次年度から、2023年度の実績を基準年とし、目標を達成できるように努力していく。
◇その他 廃棄物削減の為、顧客に適正サイズの素材提案を実施した。		◇その他(実施体制など) 人員体制の変更も無し
【今回の評価結果と今後の経営視点】 今後、売上や生産活動の上昇が、電気使用量や廃棄物量の増加に直結していくという矛盾が懸念される。売上高や生産量あたりの環境負荷を評価するなど、今後の環境活動への新たなアプローチを考えていく必要がある。		

□これまでの環境活動の紹介

省エネ活動
工場照明のLED化



再エネ活動
工場の屋上に太陽光パネル



従業員による会社周辺の清掃活動

